

令和7年度 都川まちづくりセンターの主な取組

事業名

クラフトバッグ作り教室

P

●事業実施に至った背景、目的

都川地区住民の方がやってみたいことのひとつとしてクラフトバッグ作りがあり、事業をおこなうことで、集まって顔を合わせることや、会話ができ、趣味が増えたり、手先や頭を使うことにより認知症予防になればいいなと思い、クラフトバッグ教室を実施しました。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打合せ等)

- ・講師と打ち合わせ(募集人数・かかる時間・作り方) 4/17
- ・初心者でどのくらい時間がかかるか時間をはかって実際作ってみる。6/16
- ・参加者に集まってもらい、テープの色を決めてもらう
- ・お弁当、クラフトテープ発注
- ・テープなどの材料をすべて切りそろえる。(1日で仕上げられるよう時短のため)

D

●事業の概要

日 時： 令和7年6月30日(月) 9:30~14:30

場 所： 都川まちづくりセンター(交流室)

内 容： 基本的なクラフトバッグの作り方、1日で仕上げられるよう、あらかじめ切りそろえてある材料を配り、講師に教えてもらいながらバッグを作る。
昼にはお弁当を取り、講師、職員、参加者で食べ交流をはかる。
午後から、引き続き作業し、早く終わった人は遅れている人の手伝いをしながら完成に向けて仕上げる。

C

●事業実施後の振り返り

- ☐ 参加人数・10人 講師・1人 アシスタント・1人
- ☐ 振り返り
 - ・少人数ではあったが、やってみたい！という声を実現でき、喜んでもらった。
 - ・女性中心に考えてしまうので、男性にも声をかければよかった。
 - ・お弁当をみんなで食べることをとても喜んでもらった。
 - ・家でもやってみよう、また集まってやりたいねといってもらえてよかった。

A

●今後の方向性

- ・同じ形のクラフトバッグを作るとマンネリ化してしまうので、続けて行うなら、クラフトテープでバッグ以外のものを作ることや、レベルアップしたバッグを作ることなどの変化が必要。
- ・女性だけではなく、男性にも参加してもらう工夫がいる。
- ・高齢者が多い地区ではあるが、住民同士のつながりや交流できる機会を増やしていきたい。



初めてクラフトバッグ作り教室を行いました



お昼はみんなで
お弁当を食べました！

